

緊急 2月10日発行!

ブックレット 「尖閣諸島・竹島問題」とは何か

自己中ナショナリズムの〈無化〉に向けて

高井弘之著 / A5版、41ページ / 1冊 400円

「尖閣」に加え「竹島」の問題が再燃

御存知のように、いま、かつてない排他的・挙国一致的ナショナリズムが、この国を席卷しています。その中心が「尖閣諸島/釣魚島」をめぐる問題ですが、この春からは、この間、沈静化しているかに見える「竹島/独島」をめぐる問題が再び焦点化しそうです。「竹島＝日本固有の領土」を記載する中学地理・公民等の教科書の検定結果が、この3月末ごろに発表され、その「記述」が公然化するからです。

朝鮮全土を「日本領土化」された歴史をもつ韓国側の「歴史的理由のある」ナショナリズムの噴出に対して、日本側の歴史的視点の全くない厚顔な「領土ナショナリズム」が日本社会を席卷する可能性が高いのです。

「日本固有の領土」という大ウソ

日本政府は、「尖閣諸島」も「竹島」も「日本固有の領土」であると主張し、マスメディアも、ほとんどの政党も、この「政府の主張」を疑うことなく追認し、垂れ流しています。

しかし、両(諸)島は、決して「日本固有の領土」などではありません。両(諸)島を「日本領土」に「編入」した当時の明治政府自身が、両(諸)島を「日本領土」ではないと認識していたことを示す史料・証拠も存在しています。

これらの島が、実際は、近代日本国家による東アジア侵略・植民地化過程の中で日本が「編入」し「日本領土化」したものであることを明確に示す史料・証拠も存在しています。

「尖閣」「竹島」をめぐる問題は、実は、近代日本国家による東アジア侵略・植民地化の行為とその結果を、戦後日本国家がきちんと反省・総括・清算して来なかったことによって、現在、「領土問題」の形をとって、日中・日韓間の〈問題〉として浮上しているという性格をもつものなのです。

領土ナショナリズムに〈歴史〉の対峙を!

この『ブックレット』では、これらのことを、史料・資料に基いて検証しています。事実としての根拠も、歴史的視点も全くない、この厚顔で排他的な「領土ナショナリズム」に、〈歴史〉と〈歴史認識〉を対峙させて無化・克服していくために、この小冊子を役立てていただければ幸いです。ぜひ御注文ください。

ご注文先

Tel/Fax ■ 089-977-9175 (藤原) 090-7572-9175 (藤原携帯)

Email ■ gf742bpjye82j6v7vzw2@mopera.net (奥村)

郵便払込口座 ■ 教科書裁判を支える会 01610-4-31943

価格 ■ 1冊400円 (20冊以上ご注文の方は、1冊350円)

送料 ■ 実費

お問い合わせ ■ Tel/Fax 0898-23-5808 (おもしろ共和国気付 高井)

ブックレット『「尖閣諸島・竹島問題」とは何か』ご注文用紙

お名前				(冊)
ご住所	〒			
Tel/Fax		Email		

「尖閣諸島・竹島問題」とは何か
— 近代日本の歴史が濃み出した「領土問題」 —
自己中ナショナリズムの(無化)に向けて

<目次>

一、「尖閣・竹島問題」への素朴な(問い)

日本政府の主張

政府の主張への(問い)

二、日本国家による「尖閣諸島/釣魚島」「竹島/独島」の領有過程

(1) 尖閣諸島/釣魚島

① 1885年、日本政府、「尖閣編入」を「他日の機会に譲」ることとし、「編入決定」をせず

② 1895年1月14日、日本政府、「尖閣編入」を決定

③ 1885年に「尖閣」の日本領土編入をしなかった日本政府が、なぜ、1895年に至って、「編入決定」をしたのか？

④ 「尖閣諸島」の「日本領土編入」とは何だったか

(2) 竹島/独島

① 1877年(明治10年)、日本政府、「竹島外一島」(「外一島」が現在の竹島)は日本領土ではないと決定

② 1905年1月28日、日本政府、「竹島編入」を閣議決定

③ 日本政府はなぜ、日露戦争中の1905年1月に、「竹島」の「日本領土編入」を行ったのか？

④ 日本による朝鮮植民地化戦争と「竹島」

三、日本が「尖閣・竹島」を領土化した「明治期後半」(1894~1910年)、日本は東アジアで何を行っていたか？

四、日本政府は1945年の敗戦直後、「竹島」「尖閣」を「日本固有の領土」の中に入れていなかった

五、排他的・挙国一致的ナショナリズムの無化・克服に向けて
「尖閣」「竹島」「北方領土」そして「北朝鮮をめぐる問題」とは何か

(1) 日本国内を席卷する排他的・挙国一致的ナショナリズム

(2) なぜ日本国家は戦後一貫して「反北朝鮮」なのか？

① 朝鮮半島はなぜ南北に分断されたのか？

② 朝鮮民主主義人民共和国はどのような国家として成立したか？

③ 戦後一貫して「反北朝鮮」「親韓」だった日米「帝国主義列強」

(3) 排他的・挙国一致的ナショナリズムの無化・克服に向けて

年表

参考・関連文献

